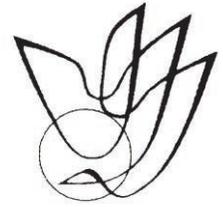


# シャローム



2023年  
復活祭号

光は闇の中で輝いている

(ヨハネによる福音書 一章5節)

## 目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —

One for all, All for one みんなで力を合わせて

復活祭メッセージ …… 2p  
日曜学校だより …… 5p  
新成人のお祝い …… 6p

サコム解散のお知らせ …… 8p  
地区割制度のための信徒総会に向けて …… 10p  
教会の動き …… 14p

## 主のご復活

おめでとうございます

いつでもどこにいてもどんな時も  
私たちが祈りで支え合いながら  
キリストの光の道を歩んでいけますように



アドリアヌス

フアンニ 神父



皆さん、主の御復活おめでとうござい  
ます。復活されたイエス様の恵みと平  
和が皆さんの上に与えられますように。  
主の復活こそ、私達のゆるぎない希望  
であり、信仰の源泉です。十字架にかけ  
られてお亡くなりになったイエス様が  
神様の大きい力で復活されたことを  
記念して、皆さんと一緒に全世界の兄  
弟姉妹と共に主の復活を祝いましょう。

新型コロナウイルス感染症から始まり、  
戦争、地震、洪水、ハリケーンなど立て続

けに悲劇が起きました。その影響に  
よって多くの兄弟姉妹が命を失い悲し  
みにくれています。私達は今こそ心を  
ひとつにして、全ての犠牲者と被害者  
のために、主の復活と共に新しい希望  
がもたらされますように心からの祈りを  
捧げましょう。

私は名古屋で日本語を勉強した後、  
2020年5月30日に吉祥寺教会に助  
任司祭として着任しました。コロナパン  
デミックの中で、信者と一緒に多くの  
活動を行うことが出来ませんでした。  
ですが、教会の周りを掃除したり、直し  
たり、マスクを作ったり、ユーチューブ  
のチャンネルを作ったり、「アンディの

紙飛行機」というブログを作ったり、で  
きる範囲の活動ができたことは良い思  
い出です。制限されたミサであつても、  
皆さんと一緒に祈りを捧げることが出  
来たことに心から神様に感謝いたしま  
す。そして、主任司祭のビジュ神父様が  
私に司祭としての仕事のやり方、儀式  
の作法、色々なことを教えてくださつ  
たことに感謝を申し上げます。他の司  
祭達からも助けていただき、多くのこ  
とを学ばせていただきました。本当に  
ありがとうございます。最後に、吉祥  
寺教会の信者の皆様に今まで色々なこ  
とを応援していただきました。心から  
感謝を申し上げます。

約3年間、私は皆さんが望むような完  
璧な助任司祭ではなかったかもしれま  
せん。私の至らない言葉や行動で皆さ  
んの心に傷を与え、傷つけたかもしれ  
ません。どうぞ私の全ての欠点をお許  
しください。

これから私は吉祥寺教会を離れ、また  
新しい生活を始めますが、信者の皆さ

んと永遠に離ればなれになるわけでは  
ありません。私達はどんなに遠くにい  
ても、祈りを通して繋がっています。

本当にこの3年間お世話になりました。  
有難うございました。どうぞ、皆さ  
んお元気で。皆さんの幸せを新天地か  
ら祈っています。

## 荒田 啓示 神父



復活徹夜祭の典礼構造は、基本的には  
主日ミサと同様ですが、開祭部に「光の  
祭儀」があること、そしてことばの典礼  
と感謝の典礼の間に「洗礼式」があるこ  
とがその特徴となっています。

「光の祭儀」は、火の祝別、光の行列、そ  
して復活賛歌から成り立っています。  
この箇所のテーマは「闇から光への移  
行」です。火を起こし、祝福し、復活のシ  
ンボルである復活ろうそくを祝福して  
火を灯し、私たちは世の光キリストと  
ともに聖堂内へ向かって行列します。

キリストの光に導かれ、キリストの光  
を分け合いながら進むこの行列は、信  
者の日常の歩みを象徴的に表すものと  
なっているのです。

作家井上ひさし氏の恩師であるルロ  
イ修道士は、中学校の国語の教科書に  
も載っていることで有名ですが、彼が  
日本を去るに当たって、長年関わって  
きた施設の子供たちへ残した送別ミサ  
でのメッセージを紹介します。

「聖土曜日に《光の祭儀》という美し  
い典礼がありますが、この中の『キリス  
トの光、神に感謝』という言葉を大切に  
して欲しい。そして皆が人々の中で、明  
るく、真面目に光って欲しい。今、ひと  
りで悩んでいる人もいます。友を求め  
ている人もいます。学校で、クラブで、  
社会で、どこでも友達を沢山作って、キ  
リストの光をひからせて下さい。それ  
は教会の責任でもあるのです。私たち  
教会の民の責任は、いつでもどこでも  
キリストの光をひからせることです。  
『キリストの光、神に感謝』この言葉を

メッセージとして残します」

このメッセージは、復活徹夜祭の典礼  
を祝う私たちの心にも染み入るもので  
あります。

さて、私はこの4月から名古屋に異動  
となります。吉祥寺教会では2年間とい  
う短い期間でしたが、皆様と関わる中で、  
その時間以上に様々なことを経験させ  
て頂きました。これからまた新しい場所  
で、キリストの光を輝かせられるよう、  
努めてまいります。これまで本当にお世  
話になりました。そして新しく赴任され  
る二人の神父様たちを快く迎えてくだ  
さいますようお願い申し上げます。  
それでは、またお会いしましょう。

### 新しい任地でもどうぞお元気で!

アンディ神父は大学で教鞭をとる準  
備のためオーストラリアの大学に留  
学、荒田神父は法人事務局長として  
名古屋・神宮修道会管区本部へ異動さ  
れます。お二人の吉祥寺教会でのお  
働きに感謝いたしましょう。

## 復活がピンとこない方々へ

星野 倫淳<sup>ともひろ</sup> 助祭

復活がピンとこなくてそんなに喜ばない皆様、私は二つのことをお勧めしたいと思います。

まずはマグダラのマリアの姿からです。かつて七つの悪霊を追い出してもらった彼女は、燃え上がるような清い愛で主を愛していました。だから、命の危険も顧みずに十字架の丘に行きましたし、墓に主の遺体が無くなっていくことに涙を流して、園丁とおぼしき人に返してほしいと懇願したのでした。愛のために、彼女はイエスの復活をどれほど喜んだことでしょう。彼がもうどこにも行かないようにと、彼女は足の足にすがりついたのです。

さて、私達も彼女のようになを愛せるでしょうか。実は私達も同じぐらいに主から愛されています。もしそのことに気づいたなら、私達も彼女と同じよ

うになを愛し、主の復活を喜ぶでしょう。ですから祈りのうちにイエスにむかって、私達への愛を教えてくださいと願ってみましょう。

次はイエスの復活を救いのメッセージとして受け取ることです。私達はみな罪びとで、罪の結果、本当は死ななければなりません。天の父は愛ゆえに、人間に自らの罪の責任を負わせず、ご自分の独り子に負わすことにされました。そしてイエスも自らを犠牲にされ死なれました。ですから主が復活させられたということは、神が「私」を、「私達」を死から救って永遠の生命をくださったということなのです。人間の罪よりも三位一体の神の慈悲が勝つたということなのです。この神祕を悟れるように聖霊に祈ってみましょう。

さて吉祥寺の子ども達、ここを離れる私は最後に言葉を残したいと思えます。あなた達の宝の価値を知るように努めなさい。カトリックの教えをよく学

## 助祭叙階、おめでとうございます！

び、それを悟れるようによく祈りなさい。それはあなたを、天に召されるまで、どんな苦しみにあつても喜びと希望のうちに生きることができるようになります。何にも惑わされず、あなたの永遠の生命であるイエスからけつして離れないようにしなさい。むしろ主が教える善い生き方をもつて、この世の希望となりなさい。あなた達はそのため、神から洗礼の恵みを頂いたのです。主はいつもそばにおられます。だから、いつも祈っていなさい。



神学生の實習期間として2021年春から2年間、初聖体準備クラスや侍者の奉仕などを担当して下さった星野神学生は、3月5日所属する広島教区にて助祭に叙階されました。召命の道を歩む星野助祭のためにお祈りいたしましょう。ありがとうございました！

# ニチガウ

の2022年度  
を振り返る

日曜学校  
だより

## 2022.5.15 授業再開!

— 昨年は感染症対策の為、ほとんど対面の授業ができません、  
授業の代わりに **日学だより** を毎月リーダーが作成し、お家に郵送していました。

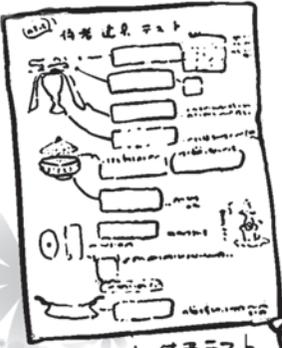
今年は...  
ヤット子どもたちの顔をみて授業ができる—!

### 2022の日学新ルール

- ★ 授業は第1・第3日曜日に行う。 **月2回**
- ★ クラスは1年生、2・3年生、4~中学生、の3クラス。 **幅広く**

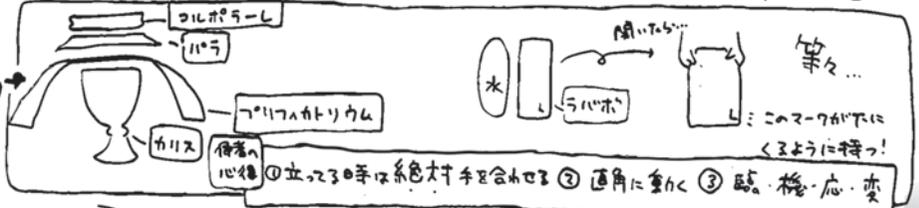


Point! 今までの日学はだいたい2学年ごとにクラス編成をしていたので、小学生のちびっこ中学生のお兄さんお姉さんの混じった教室は新鮮! ちびっこお世話をする中学生の団をよく見ました。



2022年  
久しぶりの日学...! 教会の祝日や聖書について一から学んでもう僕ら、侍者\*についても授業で多く扱いました。侍者デビューを果たす子も続々...!

1年以上のお兄さんお姉さんが侍者をやっている様子を見て勉強し、その仲間入りを目指していた今までと違い、2022は皆が、せいに侍者デビューをした印象です 😊



合宿やみみずなどのイベントごとにはもちろん、授業前に皆で歌ったりお祈りしたりするなども、今年はい行うことができませんでした。当たり前だと思っていた何気ない日学風景が見えない寂しさはありました。毎回の授業はいつもリーダーと子どもたちの笑い声であふれていました。大きな変化が沢山ある中で、日学の日学らしさについて考え、再発見することができた年だったと感じています。

# 新成人のお祝い

私たちの教会で今年二十歳を迎える若者は23名。  
1月8日9時のミサで祝福式が行われました。  
試練が続く時代を歩む若者たちに、神様の力強く  
確かな導きがありますように。



★2022年4月1日から民法が改正され、成年年齢は18歳となりましたが、吉祥寺教会ではこれまで通り20歳を迎える若者を対象に新成人祝福式を行いました。

私は今長野県で一人暮らしをする中、教会になかなか通えていません。ただ、実家に帰ってきて慣れ親しんだ吉祥寺教会の御ミサに行くたびに、神様と出会えたこと、神様を通じて日曜学校のみんなに出会えたこと等本当に良かったと実感します。

こうして成人の祝福をいただけたことも、心から神父様や家族、共同体の皆様感謝しています。本当に今まで見守ってください、ありがとうございます。これからも日々神様に感謝して、様々な出会いを大切にしながら生きていきたいです。

今回、成人祝福式を受けるにあたり、これまで吉祥寺教会で過ごしてきた中の思い出を振り返ってみました。初聖体式や堅信式、初めて侍者をやり、ミサのお手伝いをしたとき、クリスマスミサでオルガンを演奏したときのこと、どれも大切でかけがえのない思い出です。

私が20年間信仰心を失うことなく神様の子として歩んでこられたのは、悩んだときやさしく寄り添い導いてくださった神父様、どんなときでも受け入れ味方でいてくれた友人たち、教会に関わる沢山の方々が見守り育ててく



## 新成人おめでとうございます！



成人という節目を迎えるにあたり、このような式に参列できたことをとても嬉しく思います。

私は初聖体を頂いて以来、カトリックからは遠ざかっていました。昨年、約10年ぶりに足を踏み入れた教会は、どこか懐かしく安心できる場所でした。時間が流れ、小学生の頃はただ座っている

ださったからだと思えます。成人とはいえまだまだ未熟です。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、成長していけたらなと思います。神父様をはじめ、式に関わってくださったすべての方に感謝いたします。ありがとうございました。



だけだったミサも、20歳になった今では自分を見つめ直す大切な時間です。最後になりますが、今日まで教会を支えてくださった全ての方々へ感謝いたします。

「人生においてさまざまな経験、悲しいこと、つらいことがあるかもしれませんが、けれど、毎日イエス様に会いたい、会うんだという気持ちを忘れずに生きて行ってほしいと思います。」

ビジュ主任司祭のお説教より

記念品は十字架（壁掛け）と《扉を叩くイエス様》の御絵。イエス様の訪れに気づき、呼びかけに応えることができますように。新成人の皆さんも、そして私たち一人一人も。



～サコムのおゆみ～

### 1982年

谷川会(南米で宣教にあたる谷川神父を支援する会)発足。後に栗山会(吉祥寺教会で研修しブラジルで宣教にあたる栗山神父を支援する会)となる。

### 1987年

当時の及川主任司祭の発案でミッションデー(吉祥寺教会ゆかりの宣教者のために共同体で祈りと献金を捧げる1日)ができる。メンバーが減少していた栗山会はこれと一つになる。

### 1990年

年間を通して宣教者支援を行うグループ「サコム」として発展。ブラジル、パラグアイへ衣料品、おもちゃ等必要な物資をドラム缶に詰めて発送。2002年からは国内の山谷マック、ゆいまある、フラットへも同様の物資を発送。これらは2015年まで続く。

### 2010年

宮崎主任司祭のご指導のもと、一時帰国中の3人の宣教者の同時講演会を開催。

### 2018年

菊地功東京大司教の「宣教の喜び」についてのチャリティー講演会が吉祥寺教会で開催。サコムがお手伝い。



## カトリック海外宣教者援助会～SACOM (Society to Assist Catholic Overseas Missionaries)

～サコム(SACOM)の志をこれからも～

### サコム解散のお知らせ

支援した宣教地は17の国と地域！

アジア(インド、カンボジア、台湾、フィリピン、ベトナム、ネグロス) オセアニア(パプアニューギニア)  
アフリカ(エチオピア、ガーナ、ケニア、シェラレオネ、タンザニア) 南・北アメリカ(メキシコ、アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル、ペルー)

サコムは、神言会の日本管区から派遣された宣教者や、吉祥寺教会ゆかりの宣教者の海外宣教地での活動を、祈りと献金によって支援し、その宣教地の実情を知り彼らに心を合わせて祈り分かち合うことを目的に出発しました。遠くザビエルの宣教によって日本に蒔かれた一粒の種が実り、今も日本から多くの宣教者が海外の地へ派遣され活動を続けています。

サコムからのささやかな支援が宣教者の手を介して、現地の人々との出会いとなり、やがて、大きくイエス・キリストのみ言葉が実を結ぶことを願って、指導司祭のもと、サコムは活動を続けました。

近年、会員の高齢化が進み、若い世代に引継ぐことが難しく、会員の数も減少傾向で、実際に活動を継続していくのは困難になっていました。さらに3年にもわたる新型コロナウイルス感染症の流行で、支援金のための活動をする術もなく、この度、会を解散する運びとなりました。

今後は、「神言会」吉祥寺教会全体の活動の中で、サコムをもちつつ、共同体の一員として宣教者の支援を続けていきたいと思えます。

司祭団始め、教会に携わっていらっしゃる方、信徒の皆様、33年もの長い間サコムのご活動にご協力くださった有り難うございました。

## サコム解散のお知らせ



バザーでは、手作りケーキ提供の方、スカウト、日学関係者、スペイン語グループ、他、多くの方が準備や後片付け、販売を手伝って下さいました。皆様のご協力に感謝。教会バザーの「みんなの広場」ではサコム会員は受付の手伝いをしました。

サコムの活動は、年2回のミサと3回の祈りの会を主軸に宣教地への支援金を得るための春のバザー、クリスマスショップ、有志によるミニバザーの開催でした。

手作りのお菓子、中古衣料などが並びました。



### 2019年

冬バザー（クリスマスショップ）開催。これが最後のバザーとなる。

### 2020年

新型コロナウイルス感染症発生。他の教会活動同様、活動休止。

11月の追悼ミサのみ、2022年まで継続。

### 2023年3月末

解散。

宣教者の方々からの現地での活動の様子や近況を添えたEメールは会員一同の大きな喜びとさらなる活動への励みとなりました。

## 一時帰国された宣教者を囲む親睦の会

サコムの志を、これからは私たちが一人一人が受け継いで、教会共同体として海外宣教者に寄り添って歩んでいきましよう！

現地の活動の映像や写真を交えての話は私達を逆に励まし、支援活動がどんなに大切かを気付かせてくれました。

私達の献金が貧困のために学校へ行けなかった少年の学費に役立ち、その少年が後に修道院に入って司祭への勉強を始めたという話は、私たちのささやかな支援活動が少なからず召命にも役立つという点で、改めて繋がり大切さを感じ、活動を続ける原動力となりました。

遠い地の厳しい環境の中で福音を伝える宣教者の生の話をうかがいながら、その活動の困難や喜びを分かち合っています。

## 地区割制度のための

### 信徒総会に向けて



主任司祭 ビジュー キシャケール

ご復活おめでとうございます。

イエス様は私たちのために十字架上で亡くなり、その復活によって私たちに希望と救いの喜びを与えて下さいました。復活は私たちの信仰であり、どんな苦しいことも乗り越える勇気と希望を与えて下さいます。

復活の希望によって、キリストを信じる人にとってこの世の人生の後に、神様とともに生きる家があるということをお約束して下さっています。だから、ここですべてが終わるわけではなく、神様のもとで新たな生き方があることをイエス様の復活を通して示して下さいたいのです。

さて、3年余り続いた新型コロナウイルス感染症の収束がやっと見えて来ま

した。この3年間、私たちは、できるだけ、国の方針、東京都の方針、さらに東京大司教の方針に従い、教会で「感染しない、感染させない」ために、信徒一人ひとりのいのちを大切にしながら、家族の不安なども考慮しつつ、教会委員会では色々な対策を取ってきました。皆さまのご協力に感謝いたします。

この3年間では信徒との交わりの機会も少ない中で過ごしてきました。このような中でも皆さまに激励の言葉と協力をいただき感謝しています。おかげさまで、この3年の中でも、洗礼、堅信などは途絶えることなく執り行うことができました。

昨年12月には、信徒の皆さまに向けての「教会の将来に備えて」の説明会を行ない、将来の教会の信徒数・財政状況などを予測し、信徒の維持負担軽減策の提案をさせていただきましたが、信

徒の皆さまが共同体として大切だと思ふことを考えつつ、皆さまが目指す教会共同体に向けて進めていけたらと思います。そのために一人ひとりにできる努力と協力をいたしましょう。

教会の記念誌「10年の歩み」によると、1935年に武蔵野での宣教が始まりました。1942年に高円寺教会の巡回教会となり、1943年に初めての洗礼式、堅信式が行われたそうですが、新たに1948年末に現在の土地を買い、土井東京大司教は1949年2月21日付で公式に吉祥寺教会を認可し地域の司牧を神言会に委託されたのです。1954年に現在の聖堂が完成しました。つまり、来年は、地域での宣教活動が正式に認められてから75周年を迎えます。

このような恵まれた環境の中で、74年にわたって多くの司祭たちが福音宣教に励み、多くの信徒がこの吉祥寺教会をよりどころとして歩んできました。これまでに培ってきた信仰共同体を次世代につなぐことが一つの課題です。

そこで、今年度は当教会の信徒組織づくりに関して、多くの方々が期待している信徒総会、検討中の地区割制度導入案などの実現に向けて皆さまのご理解とご協力をいただければと思います。信徒総会は初めての試みですが、一つの場所に集まり、ともに聴き合い、ともに考え合い、ともに決定するということがとても大切だと思っています。

吉祥寺教会は幅広い地域から信徒が集まり、自分の居場所として信仰を生かしている方々の大切な集いの場であり、信仰の家族です。もちろん、信仰は目に見えないものであり、一人ひとりの神様に向かう道はそれぞれ違いますが、私たちは皆イエス様のもとで集まっています。その意味では、吉祥寺教会の信徒一人ひとりには教会が自分にとって信仰を生かせる場であることを確認し、そして分かち合える場であることが必要だと思えます。また、吉祥寺教会共同体は幅広い年代によって構成されているので、一人ひとりが共同体の一員として、次の世代の信仰を育てるために、何ができる

かを考え、行動できる場も必要でしょう。多くの信徒が参加できる組織づくりに向けて地区割制度導入案を準備中ですが、この「案」を教会委員会でご確認し、実施に向けて皆さまのご理解とご協力をいただければと思っています。

この地区割制度で目指すことは、各自が自分の信仰を生かせる新しい場として自分の地区をとらえていただくことです。地区割制度や信徒総会を通して、

皆さんのご参加お待ちしております

地区割準備委員会

前回のシャロームに地区割制度の導入検討を紹介させて頂きました。その後、委員会も月一回のペースで計3回開催し、具体的な準備を検討してまいりました。

地区割制度を導入するにあたっては、教会委員会にお願いして信徒総会を開催して頂き、信徒の総意として承認し

信徒同士の交わり、ごども、若者との交流などが見込めるでしょう。地区割制度の実現によって次世代の教会共同体のために積極的に関わる機会が増えることも考えられます。

新型コロナウイルス感染症収束に合わせて、教会は祈りの場、信徒の交わり場として活気に満ちたものとなるでしょう。より良い教会共同体を目指して、今後も努力をしていきたいと思います。

て頂く必要性を確認致しました。また信徒総会の前に、全信徒に対する質疑応答を含めた説明会を複数回開催する必要と教会内の様々なグループ(マリア会、ヨゼフ会、日曜学校保護者等)ごとに開催する必要性も話し合いました。会議の中で具体的な地区割リストの叩き台も作成しました。また地区リーダーの選出、役割、任期と地区集会、地区ミサ等の具体的な運営方法は、地区割制度がスタートしてから各地区ごとに決め、地区割準備委員会がサポートするのも良いのではないかとこの確認も致しました。

また地区割導入のメリット例が多く出されましたので、説明会時に紹介したいと思っております。そして地区割について、意見、質問をお持ちの信徒の方は月1回(第3土曜日午後3時より)開催の地区割準備委員会にぜひ参加していただきたいと思っております。委員会で

## 話し合い、支え合うために

### 2022年度教会委員長

第2バチカン公会議以降、カトリック教会の洗礼を受けたキリスト信徒には、聖職者等に指導されるだけでなく、神の民として、一定の役割を果たしていくことが求められるようになりました。つまり、私たち信徒は、それぞれの本分に応じて、社会の中で信者として務めを果たし、また教会共同体を支え、未来に智慧と希望を託していくことが求められています。

一方で、私たち一人一人は弱い存在で、やるべきことがなかなか達成できない、

も承認されました。

「コロナによる教会活動の制約が緩和されようとしております。今こそ、カトリック吉祥寺教会の信徒一人ひとりが善きサマリヤ人に倣って靈性豊かな、より素晴らしい魅力ある教会共同体をつくっていきましょう。」

隣人の苦しみに気づけない、違いを受け入れられない、そしてつい苦しいことから逃げてしまいがちです。だからみんなで話し合う、支え合う、ということが必要なのだと、私は思っています。いま、いろいろなことが、変化点にきています。きっかけは、新型コロナウイルス感染症であったり、司祭の異動であったりしたかもしれません。日本全体を覆う高齢化・担い手不足・構造的意識の変革は、カトリック吉祥寺教会にも例外なく、速いスピードで押し寄せてきています。

年明けの地区割準備委員会において、「教会共同体の重要な決め事は、丁寧に説明し、意見を出せる場をつくり、その意見も踏まえ、信徒の総意として方向性

を決めることが肝要であり、そのための信徒総会を開催するのはどうか」という意見が出され、教会委員会として、信徒総会の開催を目指していくこととなりました。信徒総会は、関口教会、高円寺教会、荻窪教会、その他多くの教会で開催されています。吉祥寺教会では、信徒総会は開かれない代わりに、長年、「連合委員会」が周知伝達の間でしたが、どの会にも所属していない方が8割以上の現状では、事実上機能していません。また、これからは、伝えるだけではなく、「皆が課題を自分のこととして捉え、よりよい解決策を協議していく」ことが大事です。

信徒総会の開催は、ゴールではなく、スタートです。吉祥寺教会共同体をより良く、そして次世代へ継承するために、皆で共に考えていきましょう。

地区割制度のための信徒総会は6月25日に開催、これに先立っての説明会は復活節第3主日の4月22、23日に実施予定です。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

## 信徒のための教会

～神の家族のミサに帰る～

マリア会会長



この数年、高齢化にコロナ禍も加わって信徒の教会離れが進んでしまったように思います。教会共同体の絆を回復し、より強めていくためには、「誰一人取り残さない」新たな制度に踏み出すことが必要でしょう。

マリア会で長く奉仕活動に熱心に取り組まれた友人が帰天され、遺贈していただいた本を読んでいた時、「ミサに行くではなく、神の家族のミサに帰る」という言葉が目に残りました。私達には、「どんな時にも帰るべき自分の家族がある」のだと思うと安堵感が与えられるでしょう。この家族には、老若男女、様々な人がいます。お互いに思い合い、助け合い、協力し合ってこそ、家族が生きられるのだと思います。

私達の教会(家)を知るために、2000年に発行された『せいいい』を開いて

みました。

1935年に西荻窪に民家を借りてから、1948年に広大な敷地1941坪を教会用地として登録するまで、どれだけの人達がかかわったことでしょうか。住民と土地の所有者とを昼夜を分かつた訪ね歩き、遠方の地主に会うためには一番電車に乗って山梨までお願いに行つたと、亡き義父は語っていました。

先人達の苦勞の結果、私たちには帰る家(教会)があり、誕生からこの世を終えあの世へ旅立つ日まで、いつでも安心していられます。最近、家の中も庭もきれいに整理されてきました。きれいに整えられていると誰でも安心できるでしょう。それを維持・管理することは大変なことで、管理している司祭団とボランティアの支えが大きな力と

なっています。司祭団は若手の人達を誘い、活気が出てきました。常に家(教会)がきれいに保たれ、家族が仲良く暮らしていると、転入された方も居心地が良いと感じるでしょうし、転出した若者も再び帰ってきたいと思うことでしょう。

実生活では世代間の交流が難しいとされていますが、この共同体だからこそ助け合うことができることも多いと思います。私にとっては子育ての苦勞を先輩ママがよくアドバイスしてくれたことが一番うれしいことでした。義母はよく喪服を着て教会へ行っていました。

共同体の一員なのに、誰にも見送られることなく旅立つことは寂しいことです。

一人ひとりが教会につながるための全く新しい組織、地区割制度が検討されています。一日も早く実現することを願ってやみません。

2022年

神様のもとに召された方々

13日 2日 (4月) 24日 19日 17日 12日 6日 6日 2日 (3月) 16日 13日 8日 (2月) 30日 29日 (1月)

21日 (9月) 25日 24日 (8月) 29日 29日 20日 19日 15日 (7月) 10日 (6月) 24日 11日 (5月)

洗礼を受けた方々は  
幼児5名、成人  
16名でした。

27日 17日 10日 (12月) 25日 (11月) 21日 17日 12日 10日 6日 (10月)



教会の動き

5日 典礼奉仕者連絡会

4日 教会委員会  
財務委員会

2日 (2月) マリア会講演会  
荒田神父 演題「人間の尊厳」

21日 地区割準備委員会

15日 日曜学校始業式

8日 典礼奉仕者連絡会

7日 教会委員会  
新成人祝福式9時ミサ

1日 (2023年1月) 神の母聖マリアミサ  
日曜日のため通常の時間にミサ

31日 神の母聖マリアミサ  
土曜日のため通常の時間にミサ

25日 クリスマスマシサ  
9時165名、10時半(ライブ配信有)185名参加

24日 (12月) クリスマスイブミサ  
17時173名、18時半131名、20時(ライブ配信有)151名参加

3月21日、荒田神父、アンディ神父の異動の記念にしだれ桜を植えました。



26日 四旬節黙想会  
両日共に指導は、イエズス会 平林冬樹神父

25日 四旬節黙想会

18日 地区割準備委員会



3月5日星野神学生助祭叙階式、広島廿日市教会にて。左からビジュ神父、星野助祭、白浜広島司教、伊藤助祭

22日 地区割準備委員会  
灰の水曜日10時半ミサ

(3月)

4日 教会委員会

5日 典礼奉仕者連絡会

## 2023年度の教会委員

よろしく願っています

うれしいお知らせ

そばじまよしお

**傍島義雄 神父誕生!**

吉祥寺教会青年会で活動され、2020年春号までシャロームの表紙の絵を描いて下さっていた傍島義雄さんが、3月18日、名古屋南山教会にて神言会の司祭に叙階されました。叙階後はアフリカ、ザンビアで宣教司牧にあたります。



司祭叙階式にて。  
左 傍島神父、右 松浦名古屋司教

**伊藤正弘 神父誕生!**



星野助祭の前に吉祥寺教会で司牧実習をされていた伊藤助祭は3月21日、広島教区の司祭に叙階されました。(写真は2021年11月吉祥寺教会にて)

神父様方のこれからの働きに

みなでお祈りいたしましょう。

### 復活祭後に着任の助任司祭をちょっとご紹介

**森 智宏 神父**

ちひろ



1991年6月24日生  
青森県三戸郡三戸町出身  
皆さん、初めまして。  
この度南山教会から赴任します。

叙階されて今年で3年目、南山教会では1年半しか助任司祭として勤めておらず、まだまだ教会のことを知らない若輩ですが、皆さんの力を借りながら活動していければと存じます。これから宜しくお願い致します。

**トラン・ナム・フォン 神父**

1980年7月29日生  
ベトナム出身



2019年日本管区へ派遣され、日本語を学びました。2020年から1年間仙台教区へ、2021年から南山教会へ助任司祭として派遣されました。

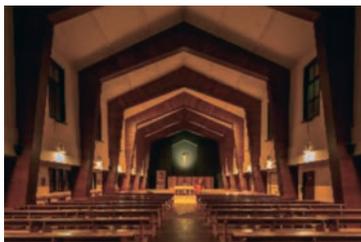
4月から吉祥寺教会へ派遣されます。新しい環境において確かに驚きや不安なところもありますが、ここにいられるのは神様の恵みだと私は思います。どうかこれからもっと皆さまのご指導や助けを願っています。

◆ご復活、

おめでとうございます

聖堂には復活のイエス様のご像がかげられ、祈りのための特別な場所の雰囲気が増しました。

聖堂でイエス様に見守られ、心静かに祈る時間を大切にしましょう。



◆東日本大震災から12年

コロナ禍で休止していた福島やさい畑の農産物販売が再開されています。この販売は、放射能汚染の風評被害に苦しむ福島農家を支援するため、震災後に始まりました。今も震災による行方不明者は千人以上、原発事故による放射能汚染の被害は様々な形で続いています。2月には、トルコ南部でも大

地震があり、教会でも支援募金を集めました。困難の中にある方々にキリスト者として私たちができることは何か、想像力を働かせて考え、行動したいものです。

◆今号より字を大きくしました

気付いていただけましたでしょうか。若干ですが字を大きくしました。皆さんに読んでいただくことが一番。少しでも読みやすく、これからも工夫していきます。ご要望、アイデア、お写真、イラスト、ご寄稿をお待ちしております。

◆2023年度のキリスト教講座は決まり次第お知らせいたします。しばらくお待ちください。

◆シャローム次号は6月頃、発行を予定しています。

(教会委員会 広報担当)

■ 事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~17:00

※ 定休日：月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日 土曜：17:00

日曜：9:00 / 10:30

\*第1日曜 15:30 (英語)

第3日曜 15:30 (英語又はカトリック語)

週日(火~金)：6:50

■ 教会報 シャローム ■ NO.506 2023年4月8日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替：口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

